

## 「こんにちは県議会です（政策タウンテーブル）」開催報告

- 1 開催日時 平成23年1月21日（金） 午後1時30分から4時30分
- 2 場 所 佐久市跡部65-1  
長野県佐久合同庁舎「講堂」
- 3 テーマ 「地域振興と社会資本整備について」
- 4 開催の概要 別紙のとおり
- 5 参加数 102名  
（内訳：市町村関係者50名、県議会議員14名  
県執行部15名、県議会事務局11名、その他12名）



★★当日の様子（動画）は下記をご覧ください★★

<http://www.pref.nagano.lg.jp/gikai/tyousa/movie/library230121.htm>

## 参 加 者 名 簿

### 【市 町 村】

(敬称略)

市町村名	理 事 者		他出席者 (随行等)	議 会		他出席者 (随行等)
	職名	氏 名		職名	氏 名	
上田市	市長	母袋 創一	岡田洋一	議長	南波 清吾	片山久男
小諸市	市長	芹澤 勤	園部文彦	議長	塩川 重治	佐藤郁夫
佐久市	市長	柳田 清二	桜井和則・北原郁生	議長	並木 茂徳	柳沢本樹
東御市	市長	花岡 利夫	土屋岳史	議長	柳澤 旨賢	長岡政直
小海町	町長	新井 寿一	小山雄二	議長	篠原 正児	
佐久穂町	町長	佐々木 定男	小林賢一・高見澤浩之	議長	友野 辰五郎	佐々木茂男
川上村	村長	藤原 忠彦	小林徹・中島修	議長	今井 好	
南牧村	村長	菊池 幸彦	高見澤泰明・津金昇三	議長	依田 利男	津金初男
南相木村	村長	中島 育男	中島則保	議長	篠原 光一	中島修
北相木村	村長	井出 玄明		議長	山口 億雄	
軽井沢町	副町長	井出 和年	金澤富夫、中山茂、上原まち子	副議長	大林 義博	
御代田町	町長	茂木 祐司	萩原真一・内堀豊彦	総務福祉文教常任委員長	笹沢 武	
立科町	町長	小宮山 和幸		議長	箕輪 修二	
長和町	町長	羽田健一郎			(欠席)	
青木村		(欠席)		議長	山本 陽一	

### 【長 野 県】

所 属	職名	氏 名	所 属	職名	氏 名
佐久地方事務所長	所長	西 裕 司	佐久建設事務所長	所長	戸 田 明 宏
上小地方事務所長	所長	堀 内 良 人	上田建設事務所長	所長	山 浦 直 人

【長野県議会】

所 属	職 名	氏 名
	議 長	寺 島 義 幸
	副 議 長	木 下 茂 人
自由民主党県議団	団 長	平 野 成 基
	政 調 副 会 長 第 2 部 会 長	木 内 均
改 革 ・ 緑 新	総 務 会 長	下 村 恭
	副 政 務 調 査 会 長	倉 野 立 人
創 志 会	幹 事 長	高 見 澤 敏 光
	副 幹 事 長 政 務 調 査 副 会 長	福 島 鶴 子
日本共産党県議団	副 幹 事 長	高 村 京 子
	政 策 委 員 長	和 田 明 子
県民クラブ・公明	副 幹 事 長	太 田 昌 孝
	副 政 策 調 査 会 長	清 水 秀 三 郎
トライアル信州	代 表	島 田 基 正
	副 代 表	今 井 正 子

所 属	職 名	氏 名
議 会 事 務 局	事 務 局 長	谷 坂 成 人
	総 務 課 長	寺 沢 洋 行
	調 査 課 長	生 島 和 弥

## 開催の概要

意見交換（座長：県議会副議長 木下 茂人）

### （１）意見発表等

#### ○佐久市 柳田市長

- ・昨日の社会資本整備審議会、関東地方小委員会において、中部横断自動車道の八千穂、そして長坂間のルートの提示等について話題になり、だんだんに動いてきたと感じている。
- ・社会資本整備の中では、佐久市は高速交通網の要衝として、大きな位置づけがあり、これからも、中部横断自動車道、日量1万5,000台、年間で550万台の通過交通を考えると、大きな期待を寄せているところ。
- ・この中部横断自動車道が、佐久市の西山という山に並行して通過するが、この峰と並行しているのが片貝川であり、この中部横断自動車道の雨水は、すべて片貝川に入ってくる計画になっている。
- ・現状の片貝川は毎回毎回のゲリラ豪雨によって、大変危険な状況で、ここへ新たに中部横断自動車道の雨水が入ってくることが懸念されており、これに対して、今の予定では、15カ所の調整池がセットされ、その後に、片貝川の引堤（ひきてい）を行い、通過水量の能力を上げていくという工事を行うことになる。
- ・この整備の順番を整えたなら、調整池がなくてもできたのではないかと考えられ、最近よく言われるインテグレーション、高速道路と周辺、河川と周辺といった一体化した社会資本整備をすれば、より効果的な社会資本整備ができるのではないかと思う。
- ・については、引き続き片貝川の整備をお願いするとともに、社会資本整備にインテグレーションの考え方をもち、より効果的に進めていただきたい。

#### ○南相木村 中島村長

- ・主要地方道川上佐久線は、川上村を起点として南相木村の中央を東西に縦断し、北相木村を經由して佐久市へと通じる、3村にとっては欠くことのできない重要路線だが、起点側の川上村と南相木村境にある馬越峠は、厳しい気象条件のために冬期間全面通行止めとなり、地域活性化の大きな阻害条件となっている。
- ・近年、当村と境を接する南牧村、北相木村、群馬県上野村への接続はトンネルが整備されたものの、隣の川上村には、馬越峠を越えなければ行くことができない。
- ・この路線は、過去、国道141号線が災害で寸断されたときに、代替道路として活躍したが、仮に冬期間であれば、流通道路の寸断、村の孤立等、さまざまな問題が発生した

と推測され、地域住民の安全確保、地域経済の発展、文化の交流、そして災害時の緊急輸送路としての当路線の重要性から、馬越峠のトンネル化が早期実現されるよう要望したい。

- ・最近、報道等で外国人の土地買収について見聞きする。これは、全く私たちの知らないところで土地の売買がされているため、法務局からの連絡によって初めて、その土地が動いた事実を知るわけであり、このような土地売買について、国、県の強い規制、情報が市町村に伝わるようなシステム作りをお願いしたい。

### ○木内議員

- ・中部横断自動車道については、新聞報道にもあったとおり、大分進展が見られるところ。八千穂から山梨間、最終的には日本海と太平洋が結ばれなければ、意味のない道路になってしまうので、我々県議会も、地域の悲願である中部横断自動車道の一刻も早い開通に向けて、県と協力をしながら国へ働きかけをしていきたい。
- ・中部横断自動車道に付随する工事として、片貝川がゲリラ豪雨等でオーバーフローするという具体的な課題をいただいた。地域の皆さんが非常に不安を抱えている問題であり、佐久市と連携をとり、地元の声を伝えたい。
- ・海外資本による山林等の買収については、国でも法整備等が今順次進められるように伺っており、そういった情報をとるように、我々県議会としてもアンテナを高くしたい。

### ○清水議員

- ・中部横断自動車道について、新聞記事では、既存の県道を利用した場合、建設が早まり、400億円の経費削減効果があると掲載されていた。早期の実現は望ましいことだが、高規格道路によるメリットがあり、それがつながるということを勘案しながら、慎重に、迅速にやっていきたいと思う。
- ・佐久南ICまでの開通において、周辺整備もあわせて、川だけではなく、交通安全や周辺のまちづくりも考慮することを、関係の市町村の皆様方と協議しながら、必要なことは国に対して要望したい。
- ・片貝川に関しては、私自身が消防団に加入していたことから河川の氾濫現場にも行き、地域の皆様方から、「片貝川に流れ込む沢の筋の砂防ダムがいっぱいになっており危ない。」という声をよく耳にしている。これも緊急を要するものであり、一体的に整備をしていかなければならないと思っている。
- ・外国資本による森林の買収について、今、国で法整備が進んでいる間にも、いろいろな動きがある。北海道のニセコ町では、国の立法を待たずに条例として規制している

ところもある。水源地や軍事施設の周辺を外国資本が買収するようなことがないよう、点検しながらやっていきたい。

### ○倉野議員

- ・佐久地域は、長野県の東の玄関口であり、都心に一番近い地域。また、直線距離で太平洋にも一番近く、この地区の高速道路または高規格道路の整備は、県の東の要衝のハブとなるという大きな位置づけがあると伺っている。
- ・東信地域は野菜の産地でもあり、フードマイレージや地産地消の動きの中でも、道路整備は、単なる車のための利便性だけではなく、地域の社会資本、産業の活性化の地域の動脈という大きな意味を持つということを自覚しなければいけない。
- ・柳田市長さんは、一体的整備ということで、インテグレートという言葉を用いられたが、公共事業の推進においては、このような感性をぜひ県の公共事業に持ち込み、できるだけ一度に済むような、総合的な取り組みをする必要もあると思う。
- ・外国資本による山林または水源地の買収は問題になっており、自治体も積極的に声を上げて、国の法制を待たずに条例化、または何らかの予防措置をとる必要があると思う。山林の価値をもう一度見直し、現在、起こっている問題を逆手に、多くの面積を占める山林を保全し発展につなげていけば、一番いいと思う。

### ○小海町 新井町長

- ・道路はつながって初めて効果が生まれるものであり、小海町の例をとると、南北を結ぶ幹線道路である国道141号線のみであり、その代替はない。
- ・このため、災害時には迅速な対応等が非常に難しく、また緊急の物資等の搬送についても、非常に苦しい。また、地域は、高原野菜の大きな産地であり、輸送の点でも中部横断自動車道の日も早い整備計画への格上げと、早期の着工、また、八千穂インターまでの早期供用開始、開通に、力添えをいただきたい。
- ・また、国道141号線の通行が遮断されると、迂回路は県道川上佐久線のみである。しかし、この県道川上佐久線は、非常に幅員が狭く、改良が進んでいないのが現実。現在、佐久穂町の羽黒山トンネルから国道299号線まで連絡できているが、そこから南のルートを示し、改良計画の日も早い立案と着工をお願いしたい。
- ・千曲川沿いに国道141号線、県道と2本の道路があるが、いずれかの交通が遮断されても、緊急時の対応は非常に困難な状況に陥るため、これらの道路が整備され中部横断自動車道との連絡を密にすることにより、地域の発展に寄与するよう御支援、御協力をお願いしたい。

### ○佐久穂町 佐々木町長

- ・活力ある地域の実現のために、独自の資源を生かした産業、観光の振興を図るため、道路は大きな役割を担っており、中部横断自動車道の開通により、佐久穂町の主な産業である農業では、輸送時間の大幅短縮により、新鮮でよりすぐれた品物を市場や消費者へ届けることが可能となる。
- ・さらに企業の誘致による産業の振興と若者の雇用創造、また高速道路を利用した通勤圏の拡大による人口減少の歯止めも期待されるほか、都会から短時間で八ヶ岳山ろくの豊かな自然に触れ合えるようになることから、観光の振興に大きな期待をしている。
- ・南佐久地域の幹線道路は、国道141号線だけであり、災害発生時には緊急輸送路としての機能に不安がある。また、関東、中京、東海地域と周辺地域に大規模な地震が発生した場合の緊急輸送に大きな役割を果たし、食料等の備蓄物資を各地へ輸送できると考えており、圏央道の外側にある東関東、北関東自動車道と、上信越自動車道、中部横断自動車道のネットワークの完成により、関東大環状連携軸とするため、高規格道路網の整備はなくてはならない。
- ・中部横断自動車道の佐久小諸 J C T から佐久南 I C 間が本年3月に部分開通するが、基本計画区間である仮称・八千穂 I C から山梨県北杜市、仮称・長坂 J C T 間が、早期に整備計画に格上げされ、早期に高速ネットワークが完成すること要望する。

### ○佐久穂町議会友野議長

- ・国道141号線、国道299号線は、南佐久地域にとっては、命の道であり、国道141号線の交通量の多い箇所の歩道の整備、及び国道299号線の茅野市・佐久穂町間の麦草峠、群馬県上野村・佐久穂町間の十石峠の通年通行が望まれている。
- ・主要地方道川上佐久線の佐久市から佐久穂町畑ヶ中地区の間は、順次整備が進められているが、佐久穂町から小海町の人家密集区間は、車道幅員が狭く、歩道も整備されていないため、非常に危険な状況にある。また、沿線地区は、児童・生徒の通学路であり、軽井沢、佐久方面と八ヶ岳中信高原国定公園を結ぶ広域観光ルートであるとともに、国道141号線の交通障害時のバイパス機能道路として重要な路線であるため、県道川上佐久線バイパスの早期の完成により、住民の安全・安心の確保を要望する。
- ・県道下仁田佐久線について、余地ダムから余地峠までの通行が必要と考える。行き止まりの道路をつなげることが、地域振興に多大な影響を及ぼす。

### ○川上村 藤原村長

- ・南佐久、特に南部地域は高原野菜の日本一の産地であり、社会的にも影響するような

大産地に成長した。

- ・これまで、あらゆる制度を導入して農業生産向上のための施設整備を図ってきたが、畑地かんがいや農道整備や排水路等、整備が遅れているところが相当あり、これから整備しなければならないところ、昨年は土地改良事業費が大幅に削減された。
- ・また、この地域では昭和 40 年代から整備してきた施設が老朽化しており、安定的に安心な作物を出荷するため、これらの再整備が必要だが、各町村では予算が厳しく、最近では既存施設のグレードアップ、長寿命化に方針を転換しており、こういったことができるよう県に要望したい。
- ・中部横断自動車道が開通すれば、現在、利用しているハブ港のほか、清水港、新潟港の利用も可能となり、南佐久地域から東南アジア、ロシアへの農産物輸出戦略に大きな役割を果たすことから、一日も早い開通を要望する。
- ・T P P への参加は県内農業に大きな影響を及ぼし、国内農業の体質強化を図らなければ農林業は自立不可能である。県議会挙げて、T P P の問題を真剣に考えていただきたい。

#### ○南牧村 菊池村長

- ・村内の唯一の幹線道路である国道 141 号線は、通行量が多いものの、規格が古く、カーブが多く勾配も急であり、細い道を大型トラックが行き交うことから交通事故も多発しているが、迂回路がなく、通行止めになると、交通が寸断され陸の孤島となりかねない。
- ・村には路線バスがなく、J R 小海線は運行本数が少ない上、駅まで遠いことから、車がないと生活できない状況で、救急搬送時間も全国平均の 2 倍程度である現状から道路整備は大変重要な課題。
- ・中部横断自動車道の整備は、国道 141 号線の代替のほか、通勤・通学の所要時間短縮による人口流出の歯止め、救急救命率の向上、農産物輸送時間の短縮や新たな販路の拡大につながり、沿線住民の安心な暮らしを実現し、将来に希望をつなぐことができる。
- ・なお、中部横断自動車道の整備にあたっては、優良農地や人家の影響を最小限に抑え、最小の犠牲で最大の効果が得られるようお願いしたい。

#### ○高見澤議員

- ・この地区の道路網については、国道 141 号線のみで非常に苦勞しているが、現在望まれている、県道川上佐久線、中部横断自動車道の整備促進について、認識を同じくしており、私も一層力を注いでまいりたい。
- ・財政的な面から全ての道路整備を行うことは難しい現実もあり、中部横断自動車道が現実味を帯びているなか、アクセス道路など、優先度を考慮すべきと思う。

- ・大規模な農産物の産地であるこの地域の農業設備については、お話のあったとおりで、一日も早く基幹整備をしていかなければならないと認識している。
- ・国の農業政策が見えてこない現状だが、県として今の段階で何ができるかお互いに努力をしてまいりたい。

### ○和田議員

- ・道路改良は待ったなしの問題と実感している。
- ・長野県の農業生産額 3000 億円を目指しているが、現在、2800 億円に届くかというところであり、農業生産額引き上げのトップバッターとして頑張っている、野菜の一大産地である南佐久のみなさんが困っている課題を県議会としても受け止めなければならない。
- ・TPPについては、県議会として限りなく反対の立場で意見書を国に上げたところ。
- ・道路案内標識について、「清里」への案内となっているが、地元の観光案内も加えるような改良ができればと思う。

### ○太田議員

- ・各自治体とも道路を活用した地域振興に真摯に取り組まれていることに敬意を表する次第。
- ・農産物の売り込みに関しては、本県の農産物マーケティング事業が事業仕分けで「要改善」とされたが、道路整備と同時に当地の新鮮な野菜を国内、海外に配信できるよう、協力、応援していきたい。
- ・農業用施設の整備については、昨年の予算削減は私どもも心を痛めたところ。農政林務委員会でも取り上げ、新年度予算の概算要求でも施設の長寿命化に新しい事業を盛ったところ。
- ・TPPについては、食の安全、安定的な供給、食料自給率の向上、国内農業・農村の振興等を損なうことがないように、大変に厳しい制約をつけた意見書を県議会として、国に提出したところ

### ○上田市 母袋市長

- ・道路整備は、農業、商工業、観光、医療、まちづくり、交流など様々なキーワードの原点であるという思いをもっている。今日は、地域ごとのスケールを大きくした取り組みを提案。市町村ごとの事業を乗り越え、広域の連携を図る投げかけをさせていただく。また、県及び県の現地機関にはこのような連携の真中であることを認識いただきたい。
- ・上田市は新幹線、高速道路が整備され、上田駅はハブ駅化しており、道路交通でも要衝となり、東京から上田まで新幹線で移動し、駅から各地へバスで移動する、レール・アンド・バスまたはレール・アンド・カーという状況がある。また、安曇野市から上田

市までのタクシー路線もできている。

- ・平成 26 年の北陸新幹線の金沢延伸後、中南信から新幹線の最寄駅として、上田、佐久にも利用者が訪れることが予想される。また、中部横断自動車道が開通した先には山梨県、静岡県があり、上田市にとっても大きなメリットが生じる。広域での変化を予想した場合、障害を取り除いておく必要があり、安曇野、松本、諏訪方面から上田方面への誘客のためには、道路整備と、各有料トンネルの早期無料化をお願いしたい。
- ・また、上信自動車道の整備促進、国道 18 号バイパスの整備などにより、観光誘客、地域間交流促進に大きな効果が考えられる。東信濃というイメージでそれぞれ連携し、アピールする重要性、また、魅力・回遊性の発信のため、社会資本整備は必要である。

### ○上田市議会 南波議長

- ・上田市では、さまざまなインフラ整備が進んできた中、新幹線上田駅などの交通の要衝を生かした地域振興策として観光をリーディング産業と位置付け、高速交通網を利用した誘客企画の提案などの仕掛けづくりを始め、広く地域の発展を目指し、広域連携の仕組みづくりを進めている。
- ・中部横断自動車道は太平洋から日本海をつなぎ、東信地区全体にとって、地域力をアップし、地域振興に大きく寄与するものと期待しており、東信地域全体で観光振興、地域振興策の広域的な連携、民間活力導入とタイアップして取組む必要性を感じている。

### ○東御市 花岡市長

- ・当市では、市の真ん中を流れる千曲川に 8 本の一級河川が急峻な状態で下ってくるという現状がある。
- ・河川改修は下流から行わないとあふれてしまう可能性があるが、高速道路の整備にあわせ、上流から河川改修が行われたものの、国道 18 号線のところであふれやすい状況であり、国道 18 号線を渡して一級河川を千曲川につなぐことを政治課題としてきた。
- ・また、山や農地の荒廃に加え、都市化の進行からアスファルト、コンクリート面が増加し、透水性が悪くなったことにより、ゲリラ豪雨に限らず、水が一举に河川に入り、非常に危険な状態になりやすい環境になっている。
- ・地域住民の安心、安全のための極めて大切な仕事であるが、国や県にお願いした場合にも、治水予算が総枠で少ない。社会全体が治水を必要とする発展をしてきたが、予算が減っている。この現実に関し、緊急の課題と考えていただき、県、国の予算確保をお願いしたい。

### ○長和町 羽田町長

- ・長和町から上田、小諸、佐久、松本、諏訪へは、それぞれ概ね 30 分から 45 分程度の時間であり、長和町に居住しこれらの地域の企業へお勤めいただければと考えている。

- ・しかし、諏訪方面については新和田トンネルの料金（普通車 600 円）がネックとなり、交流を阻害しているという現実がある。
- ・1日も早く、新和田トンネル、あるいは三才山トンネルの無料化に努力をいただきたい。

### ○島田議員

- ・交通網の整備を地域間交流にどう生かし、これからの時代を迎えていくか、地域資源の発信力強化につなげてほしい。このため、地域固有の資源である、自然、歴史、文化等を地域住民によく理解いただき、風土の力を再開発する機会にしてほしい。
- ・地域資源の循環型社会の形成により、雇用と産業をそこに位置づけ、絆の強い地域、自然、歴史、文化が生かされる社会資本整備に力が結集できれば、発信拠点として生かされるのではないか。

### ○平野議員

- ・かつての道路計画のように、人口も増え、自動車も増えていくといった前提での4車線（片側2車線）設計から、人口減少という時代が変わってきており、国、県、そして市町村も予算が厳しいなか、少し観点を換え、2車線（片側1車線）とすることにより、同じ予算でより長い道路整備ができるのではないか。
- ・国も抱き込んで新しい議論が必要になるが、このような発想の転換により、新しい時代を切り開き、生き抜いていく発想も必要ではないか。

### ○下村議員

- ・河川改修については、各地にそういった場所があり、地域の歴史的にも危険を伴っている箇所も整備していかなければならないと考えている。
- ・上田市長のお話にあった、安曇野市と上田駅のタクシー路線開設に伴い、安曇野市の農産物アンテナショップが上田市に進出したように、物理的に地域がつながることにより交流がより大きく進展する。それにより、農業、観光、商工業も発展し、人の交流が生まれてくる。
- ・東御市田中地区の無電柱化工事では、総事業費のうち、工事費は全体の4%程度であった。これは、事業費のほとんどが、補償費や住宅の移転費であり、こういった公共事業の認識を各市町村から住民の皆さんにお知らせいただければありがたい。

### ○高村議員

- ・三才山、松本、平井寺、新和田の各トンネル無料化は、上小地域の議員みな同じ思い。30分以内の隣町であり、有料ではいけないと思っている。しかし、有料道路の収入をみると、これだけの経費がかかってくるという痛みも感じる。道路整備に当たっては、

費用対効果、当事者の同意のもとに整備することが大切と思う。

- ・河川改修については、昨日可決した補正予算も河川改修にも力を入れているとなっている。下流からの改修、限られた財源をどこから優先していくかが非常に大切な視点と思う。

### ○小諸市 芹澤市長

- ・小諸市では現在、病院の再構築を進めているが、安心安全の最たるものは救急医療体制の整備であり、そのためには中心街に早く救急車が入ることができるよう県道小諸上田線の拡幅について、ほぼ実現の方向で進めていただいている。
- ・その先の栃木橋からさらに進んだ、商業店舗部分の拡幅をぜひお願いしたい。緊急な要望も受けており、すぐに取組をお願いしたい。

### ○軽井沢町 井出副町長

- ・軽井沢町は、古くから別荘地、保健休養地というステータスを持ち発展してきたが、現在、一時800万人を超えていた観光客が760万人台に落ちており、いつまでもブランドイメージに頼っているのは、取り残されていく危機感を持っている。
- ・新幹線の金沢延伸、中部横断自動車道の開通により、新たに訪れる観光客もあるが、通り抜けにより減少することも考えられ、他にない魅力ある拠点を整備し、そこから他町村、隣接県と結ぶ同線の確保が喫緊の課題。
- ・現在、中軽井沢駅周辺の再整備を行っており、その北口広場は国道 146 号線の起点として主要観光道路の玄関口となっている。国道 146 号線は一部歩道を含め急カーブの解消と多くの課題が残っており、中軽井沢駅の活性化、観光広域連携の上から更なる整備をお願いしたい。
- ・現在、御代田方面から途中まで整備されている県道借宿小諸線について、国道 18 号線へ流入する車両を分線するため、信濃追分駅までと、それを延伸して国道 18 号線バイパスへの接続の検討をお願いしたい。

### ○御代田町 茂木町長

- ・御代田町では、精密関連の優良企業従業員の 7 割が町外から通勤しているため、毎日、佐久市、小諸市から多くの車が通行しており、軽井沢町に通じる観光道路も含め道路の改良が非常に重要な課題になっている。
- ・県道借宿小諸線については、児玉地籍で拡幅が実現したものの、一部拡幅されていない箇所があり、橋梁の拡幅も必要となっていることから残された部分の拡幅をお願いしたい。

- ・ 県道御代田停車場線については、苦勞の末、住民合意を得ることができた。残された課題はあるが、じっくりと粘り強く事業の遂行を要望したい。

### ○立科町 小宮山町長

- ・ 立科町は上小地域と佐久地域の狭間にあり、中南信の茅野市とも境を接していることから、立科町と中南信を結ぶいくつもの期成同盟会に加入している。中南信を結ぶルートは、三才山ルート、和田ルート、女神湖・白樺湖を通る3ルートがあり、こうした、中南信と東北信を結ぶ道路網の整備が、長野県の経済発展につながると思っている。
- ・ 立科町にはこの3ルートのうち2ルートがあり、そのうち、三才山へ向かう国道254号線の宇山バイパスがこの国道254号線の最後の未改良区であり、一日も早い開通が町の悲願になっている。
- ・ また、女神湖・白樺湖の茅野へつながるルートについて、白樺高原があり観光ルートとしても重要な路線だが、冬期は積雪、凍結の多い急傾斜で事故が多発している。交通事故が年間100件を超しており、早期の整備をお願いしたい。

### ○今井議員

- ・ 東信地域は東京側からの玄関口として、軽井沢、佐久だけでなくそれぞれのところへつながる、道路を中心とした社会資本整備について、地域振興の新たな夢が出てくるのではないかと感じた。
- ・ 上小の議員からも出ていた、トンネルの無料化により、大きな意味で佐久地域にも続いているもの。地域全体として持ち上げていかなければならない。
- ・ 県道借宿小諸線の橋梁の拡幅、一番危険なところの整備ができていないということで、地域の観光、農業、商業が一緒になろうとするネックの一つと感じており、地元の議員としてしっかりやっていかなければいけないと思っている。

### ○福島議員

- ・ 地域により、社会資本への期待度、期待するものが違うということを実感し、その地域の声を受け止めながら、我々はそれにこたえなければならぬと感じた。
- ・ 長野県において、持続可能な地域医療を守るためには、病病連携、病診連携等、広域での機能分担、連携、地域完結型だという方向性が出ているが、そのなかで大事なことは、いかに早く、必要な病院に行くことができるかというための道路、社会資本整備と思う。
- ・ また、県を超えた広域の整備、道路、社会資本整備も話のテーブルに載ってもよいのではないかと。

**○青木村議会 山本議長**

- ・ T P P の問題、鳥獣被害の問題があり、これらについて一層の尽力をお願いしたい。

**(2) 総括**

**○長野県議会議長 寺島義幸**

- ・ 農業、産業、観光振興、さらには危機管理、生活にはこの社会資本整備が欠かせないものであり、基礎自治体を担う市町村にとって本当に重要な案件であると思っている。
- ・ 私ども県は、国と市町村の間にある中間行政であり、基礎自治体である市町村の皆さんをどう支援していくかが、私どもに課せられた課題であると思っている。
- ・ 2月16日からの2月定例県議会を通じ、今日いただいた貴重な意見を背負いながら慎重審議し、一步でも二歩でも社会資本整備が進むよう努力し、基礎自治体と国とのパイプ役として頑張っているため、さらなるご指導、ご鞭撻と忌憚のない意見をお願いしたい。